



大正



だより 5月号



手をつなぐ
背の差まぶしき
五月風

校長
小林
崇

爽やかな五月の風が吹くようになり、ツツジの花がこもりとした樹形を覆うように鮮やかに咲いています。白や淡いピンクも見かけますが、赤紫っぽい色の花が多いようです。私は知りませんでした、これは躑躅色(つつじいろ)という色なのだそうで、平安時代から使われる日本の伝統色とのことです。学校の職員玄関前では新緑の中に華やかな姿が目と心を楽しませてくれます。

「ランドセルの向きはこうだよ。」「給食を待つときは帽子をかぶってね。」「折り紙もらっちゃった。(1年生からのお礼)」

校内を巡回している時、入学したばかりの1年生の教室に行くと、数人の6年生の姿が見られます。これは、登校後の支度や給食準備、掃除の時間など、1年生がサポートを必要とする場面で6年生がアシストしている様子です。そのアシストも日を追うごとに少なくなり、まるで子どもが自転車に乗れるようになる時に、補助輪を一つずつ外していくときのようです。1年生からしてみれば6年生は大きな大きなまるで大人のような存在に感じられるでしょう。6年生も1年生と関わる時にはやわらかい表情を見せています。そこで張り切っている6年生に少し尋ねてみました。

【校長】「6年生になって1か月ほど経ちますが、5年生の時との違いはなんですか？」

【6年生】「委員会活動で委員長になったり、1年生の

お手伝いをしたりして大変だけど楽しいです。」「勉強が難しそうです。今は修学旅行が楽しみです。」

やる気いっぱいの様子が伝わってきました。1年生を迎える会では、私から、「大正小学校は1年生から6年生までのみんなが一つのチームのようになって、笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います。」と伝えました。チームはお互いに助け合い、思いを共有し合うもの。6年生にはぜひ、新大正リーダーズとして頑張ってもらいたいです。

先日は授業参観(2~6年生)、懇談会にご来校いただきありがとうございました。懇談会の中で「副担任」について担任からお伝えをいたしました。今までもそれぞれの学年にはクラスを担当しない教師が付き、チームを組んで連携をしておりましたが、令和8年度からは低中高の各ブロックに1人の「副担任」を位置づけました。引き続き学習支援や児童支援、行事運営などにはこれに児童支援専任を加えたチームで対応してまいります。子どもたちや保護者の皆様には連携や相談の窓口が増えて、より安心・安全な学校生活が過ごせるようにと考えております。

4月22日に「第1回学校運営協議会」が行われました。そこでは委員の皆様には授業の様子を見ていただいたり、学校運営についての説明、地域と学校がどのように連携していくかなどの熟議を行ったりしました。令和8年度、学校運営協議会の会長と110周年記念事業実行委員会の委員長を元PTA会長の佐藤嘉代様をお願いしています。どうぞよろしくお願いいたします。また、4月28日には「学援隊よろしく願いしますの会」が行われ、地域学援隊の皆様にご来校いただき、お一人ずつ言葉を述べていただきました。大正小学校の学援隊は地域の皆様と保護者の皆様が一体となって子どもたちを見守るチームです。

いろいろなチームについて話題にしてきました。全ては子どもたちのために。いいまるの長い腕のようにつながり合っていきたいと思います。

